2025年3月期 (FY2024)
本決算概要

2025年5月8日

千代田化工建設株式会社

（証券コード：6366）

© Chiyoda Corporation 2025, All Rights Reserved.

AGENDA：

1. ハイライト
2. 損益計算書
3. バランスシート
4. 受注高・受注残高
5. 2026年3月期予想

Appendix

- 主なトピックス
- 完成工事高・受注残高内訳
- 業績推移

1. ハイライト

FY2024 実績

- 国内外の手持ち案件が順調に進捗、安定収益と堅調な利益率の維持に寄与
- 第4四半期において、地球環境分野を中心に裾野の広い収益を獲得。
  通期では、各段階利益において予想（2025年2月公表）を上回る着地に

ゴールデンパス LNGの状況・決算への影響

- 新JV体制下での第1系列の契約改定は、2024年11月に完了。
  これに伴う採算の改善により、第3四半期で約30億円の利益計上
- 第1系列の建設工事は、今年度の完工を目指して進行中
- 第2、第3系列の契約改定交渉は進捗しており、今年度前半の調印を見込む。
  契約改定後、新たな納期・コストを踏まえて、速やかに採算の見直しを実施予定

FY2025 通期見通し

- カタールNFEをはじめとする国内外の遂行案件が収益貢献。
  一方、インドネシア銅製錬の完工及び前年度のタングーLNGの一過性利益の反動から減収減益の見込み
- 「経営計画2025」に基づいた受注戦略に取り組む。
  脱炭素・先端素材・ライフサイエンス分野を中心に、顧客へのエンゲージメントを深め国内外で幅広くマーケティングを実施

2. 損益計算書

（単位：億円）

	2月5日 修正 通期予想	FY2024	増減	FY2023
完成工事高	4,600	4,570	△30	5,060
完成工事総利益	395	1 423	28	△2
完成工事総利益率	8.6%	9.3%	0.7pt	△0.0%
販売費・一般管理費	△175	△179	△4	△148
営業利益	220	244	24	△150
営業利益率	4.8%	5.3%	0.6pt	△3.0%
経常利益	275	322	47	△55
純利益*1	220	270	50	△158
為替レート（円/米ドル）	150	150		151

1 分野別 内訳

✓ 完成工事総利益

分野	FY2023	FY2024
エネルギー	△223	255
地球環境	222	168
合計	△2	423

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

3. バランスシート

（単位：億円）

	FY2023	FY2024	増減
流動資産	4,044	4,373	329
現金・預金等	1,021	1,533	513
営業資産*1	465	322	△143
JV持分資産*2	1,470	1,539	69
固定資産	226	238	12
総資産	4,270	4,610	341

	FY2023	FY2024	増減
流動負債	4,122	4,095	△26
営業負債*3	3,225	3,384	159
工事損失引当金	365	284	△81
固定負債	87	260	173
純資産	61	255	194
負債・純資産	4,270	4,610	341
自己資本	49	237	188
自己資本比率	1.1%	5.1%	+4.0pt

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金
*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債（未成工事受入金）

4. 受注高・受注残高

（単位：億円）

	FY2024 受注高	FY2024 受注残高
エネルギー分野	1,076	5,579
地球環境分野	1,037	1,819
合計	2,113	7,399

【受注残高 主要案件】

	1,000億円 以上	500億円 以上	50億円 以上
エネルギー分野	カタール・NFE LNG	米国・ゴールデンパスLNG	国内・LNG受入設備
地球環境分野	―	―	インドネシア銅製錬 バイオ医薬品原薬製造設備 先端素材 生産設備 CO_2→CO 変換プラント 硫化リチウム大型製造装置 医薬品製造設備*

＊ 国内グループ会社受注案件

5. 2026年3月期予想

（単位：億円）

	FY2025 通期予想
完成工事高	3,700
完成工事総利益	340
完成工事総利益率	9.2%
販売費・一般管理費	△180
営業利益	160
経常利益	190
純利益*1	150
受注高	2,500
為替レート（円/米ドル）	145

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

Appendix

主なトピックス

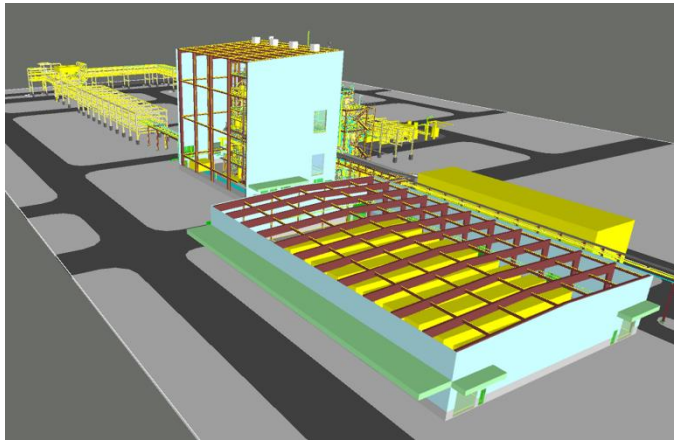
出光興産(株)より
硫化リチウム大型製造装置のEPCを共同受注

- ✓ 硫化リチウムは、全固体電池*1材料(固体電解質)の重要な中間原料
- ✓ 当社をリーダーとしたコベルコE&Mとの共同企業体で受注
- ✓ 現在別途遂行中の固体電解質の大型パイロット装置の基本設計業務*2 とともに、本件を通じて、出光興産の固体電解質事業に積極的に寄与

[案件概要]

顧客	出光興産(株)
建設地	出光興産(株)千葉事業所内(千葉県市原市)
完工予定	2027年6月
備考	経済産業省が「蓄電池に係る供給確保計画」として認定し、顧客が進める事業

硫化リチウム



硫化リチウム大型製造装置の完成予想図

*1 主に電気自動車における航続距離拡大・充電時間の短縮・安全性向上が期待される
*2 2024年12月24日「出光興産株式会社向け 全固体電池実用化に向けた固体電解質大型パイロット装置の基本設計業務の受注について」

完成工事高・受注残高内訳

（単位：億円）

FY2024 完成工事高

【分野】

エネルギー	2,882	63%
LNG・その他ガス関係	2,550	56%
石油・石油化学	333	7%
地球環境	1,687	37%
医薬・生化学・一般化学関係	357	8%
環境・新エネルギー・インフラ他	1,330	29%
合計	4,570	100%

【地域】

海外	3,552	78%
中近東・アフリカ	2,128	47%
北中南米	217	5%
アジア・オセアニア	1,181	26%
その他海外	25	1%
国内	1,018	22%
合計	4,570	100%

FY2024 受注残高

【分野】

エネルギー	5,579	75%
LNG・その他ガス関係	5,209	70%
石油・石油化学	370	5%
地球環境	1,819	25%
医薬・生化学・一般化学関係	876	12%
環境・新エネルギー・インフラ他	944	13%
合計	7,399	100%

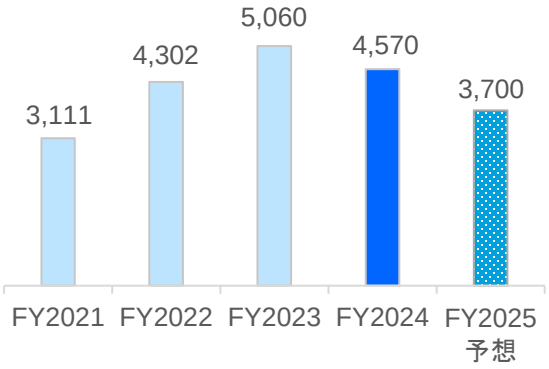
【地域】

海外	5,475	74%
中近東・アフリカ	4,037	55%
北中南米	743	10%
アジア・オセアニア	683	9%
その他海外	12	0%
国内	1,924	26%
合計	7,399	100%

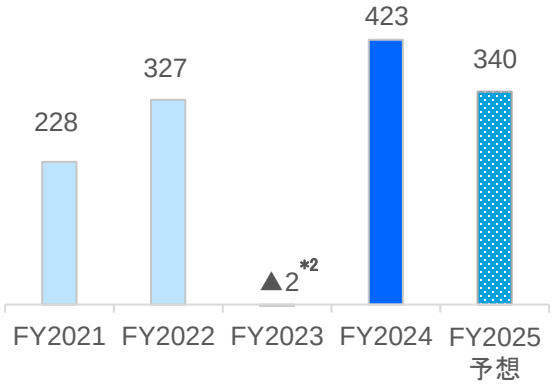
業績推移

（単位：億円）

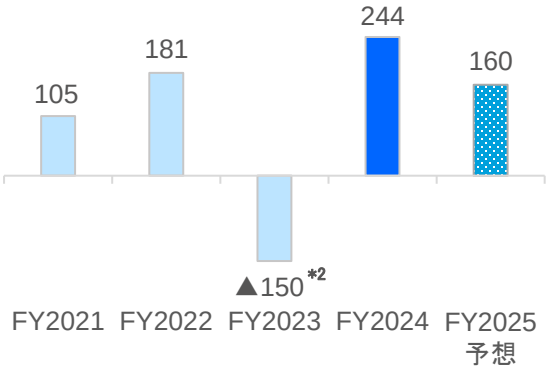
完成工事高



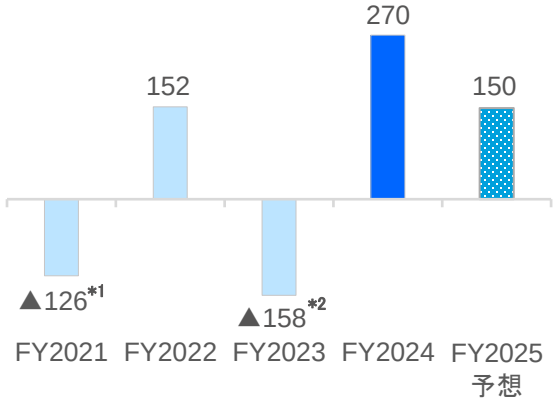
完成工事総利益



営業利益



純利益



*1 特別損失 ▲204億円含む（顧客との和解等によるプロジェクト関連損失）
*2 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用▲370億円含む

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、
および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下す
ことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
千代田化工建設株式会社
総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション
E-Mail : ir@chiyodacorp.com

CHIYODA CORPORATION

CHIYODA GROUP

© Chiyoda Corporation 2025, All Rights Reserved.